

沖縄県保険医協会会員数  
834名  
(9月1日付 現勢)

全国保険医団体連合会会員数  
106,914名  
(9月1日付 現勢)

# 沖縄 保険医新聞

発行所 沖縄県保険医協会  
〒902-0061 那覇市古島2-28-2  
佐辺ビル103号  
TEL(098)894-9579  
FAX(098)894-9589  
https://okinawa-hk.com

発行人 高嶺朝広  
年間購読料1800円(会員の購読料は会費に含む)

## 第36回定期総会開催

# 2024年度活動方針を決定

8月31日(土)協会事務所第36回定期総会を開催し、役員および会員など12名が出席した。

冒頭の高嶺会長の挨拶では、設立35年で現在837名の会員数となったが会員の高齢化が大きな課題、能登半島地震や今般診療報酬マイナス改定など厳しい情勢の中で頼りになる協会を指し、共済制度の普及や10月の医療者増員を求めるシンポジウム、11月の反核医師のつどいを成功させ、沖縄の医療、県民の命を守る



活動を進めていきたい、と述べられた。

その後、譜久山理事より保団連の祝電メッセージが紹介され、司会の山田副会長を議長に選出し、議事が進められた。

第1号議案(2023年度活動報告)について座副会長、第2号議案(2023年度決算報告)について照屋理事、第3号議案(2023年度監査報告)について協会監事の嵩原公認会計士から報告された。続いて第4号議案(2024年度活動方針案)について高嶺会長、第5号議案(2024年度予算案)について喜納理事から提案され、討論に入った。

討論では、活動方針案の重点課題の追加修正点を確認し、予算案などについても意見が出され、今後理事会で検討していくことで確認された後、全議案が一括採



択された。その後、高嶺会長より1年間不在だった事務局長職の承認について追加提案があり、西銘事務局員の事務局長就任が承認された。

最後に城所理事が総会決議案を読み上げ採択し、閉会の挨拶では山里理事より、新事務所や事務局新体制、県医師会との連携強化など画期的な総会になったと述べ終了となった。

総会終了後は、5年ぶりに懇親会が開かれ、久しぶりの対面での交流を楽しみながら和やかに閉会となった。

### 会長挨拶

沖縄県保険医協会会長  
高嶺 朝広



今年で36回目の定期総会となり本会が設立されて35年経過しましたが、1989年に137人で発足し、830人を超える医科・歯科会員を擁する組織に成長しました。日頃の先生方のご協力に心から感謝致しますとともに、深く御礼申し上げます。

今年の元旦、最大震度7の能登半島地震が発生し日本全国に大きな衝撃が走りました。被災地では多くの市民の命が奪われ、現在も避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされ復興に向けた取り組みが続いています。また8月には宮崎県でも震度6弱の地震が発生し、今後、南海トラフ地震発生について注意を促しています。

さて、2024年度の診療報酬改定は医療、介護、障がい福祉サービスのトリプル改定となり、今回政府が進める医療DXに合わせ、薬価以外の改定については6月1日に施行されました。今次改定により、200床未満の病院・診療所を対象として、特定疾患療養管理料の9割強を占める糖尿病、高血圧、脂質異

常症の3疾患を対象疾患から外し、内科系医療機関を中心に大幅減収となり経営に大きな影響を及ぼしています。また、マイナ保険証によるオンライン資格確認についても全国でトラブルが続発している中、現行の国民皆保険制度を守り、維持していくためにも、12月の保険証廃止を強行する政府に対し「保険証を残せ」の声を上げていくことが求められます。

平和問題では、今もなおロシアによるウクライナに対する軍事侵襲、イスラエルによるガザ攻撃など一般市民が犠牲となる悲惨な戦争が続いています。日本でも軍事費拡大、自衛隊増強など危険な流れを加速させており、県内でも辺野古新基地建設について今年1月から大浦湾側での工事が着手され民意が反映されない状況が続いています。また、昨年末の米兵による少女暴行事件が今年6月に発覚し、これ以上の米軍基地負担は受け入れられないとの立場から日米両政府、沖縄県警に対し抗議声明を发出了しました。

このような中、本会会員からの診療報酬算定、個別指導、患者トラブル等の相談対応、歯科施設基準研修にあたるeラーニングの運用など、会員に寄り添ったサービスから社会保障問題や平和問題まで幅広い活動に取り組んできました。保険医年金、休業保障グループ生命保険の3大共済制度に加え、サイバー保険、所得補償制度を運用し、組織拡大と連動した取り組みを展開しています。また、国民のいのちを守り一切の戦争に反対する立場から、今年の11月には「第34回反核医師のつどいin沖縄」を開催しますので、会員の先方、また全国からの多くのご参加を歓迎します。

今後本会の活動方針に基づき、情勢や会員の要望を的確に捉え、軍拡ではなく社会保障の充実を求め、会員の生活と権利を守り、県民のいのちを守る「頼りになる協会」を目指していきますので、会員の先生方、関係各位のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

様々な業務に対応しています。今後とも協会役員と事務局が一体となり、保険医の権利を守る会員に寄り添った運営、県民の命と健康を守る活動を継続、強化していく所存ですので、引き続き協会に対するご理解、ご協力およびご指導を宜しくお願いします。

## 弾風

歴史は繰り返す？  
1944年、軍事の空白地帯と呼ばれた沖縄に日本軍部隊が相次いで配備され、学童を含む老幼婦女子の疎開が実施された。本土の防波堤たる島に民間人がいたら思い切ったくさが出来ないというのが大きな理由。そして同年8月22日、対馬丸撃沈という悲劇が起きた。

歴史は繰り返す？ 昨年、私が住む石垣島には、自衛隊の「南西ソフト」拠点の一つとして、自衛隊駐屯地が開設された。「専守防衛のため自衛隊配備」という防衛省の当初の説明に反し、2025年には対敵地攻撃用の長射程ミサイルを配備する方針だという。住民への説明もないままに……。「国民保護に係る住民避難実施要項」では、武力攻撃予測事態において先島諸島住民は九州各県及び山口県に避難する計画が示された。「ふるさとが戦場となり、戻っても元の風景はないかもしれない」避難先でどう過ごすのか？―住民からは不安の声があがっている。

台湾有事を念頭に計画されている「避難」は、80年前の「疎開」とどう違うのか？長い年月をばさんで、二つの光景が重なって見える。攻撃準備や避難計画作成に労力を費やす前に、今を「戦争前夜」にしないための外交努力がしっかりとされるべきではなからうか。(N.K)



# 保団連夏季セミナー報告

8月3日（土）～4日（日）、東京開催  
現地277人、ウェブ356人が参加

8月3日（土）～4日（日）に保団連夏季セミナーが開催され、沖縄協会からは2名の参加がありました。参加報告を掲載します。

保団連・保険医協会の今年前半期の活動を振り返り、今後の運動に繋げていく学びの場であった。初日は武田会長挨拶に始まり、井上副会長が能登半島支援、診療報酬マイナス改定の内容、特に特定疾患管理料の廃止から生活習慣管理料IIへの移

行やベースアップ評価料の問題点を指摘、紙の保険証を残す意義、社会保険費抑制と軍事費拡大は表裏一体等々を詳述した。政府・デジタル庁が矢

を中止に追い込んだ全県民の運動などにも触れて欲しかった。続く記念講演ではテレビ朝日の玉川徹氏ご本人が経歴を振り返り、その示唆に富む絶妙な話術、飾らぬ口ぶりには感心した。

特に「我々本土は沖縄を捨て石にし、米国は日本を捨て石にする。国民は自業自得と知るべきだ」と指摘され、胸がすく思いがした。安全保障のジレンマから外交へのシフトも納得するものだった。

2日目、明海大学経済学部准教授・宮崎礼二氏の「軍事大国化する日本の「軍事大化」は人口減少社会における地方の衰退、医療機関の統廃合などが問題になる一方、人口や医療機関をい

意に反して先発品を使わざを得ない状況の中で、厚労省の骨太の方針では「薬剤自己負担の見直しについて引き続き検討を進める」となっている。具体的には

意に反して先発品を使わざを得ない状況の中で、厚労省の骨太の方針では「薬剤自己負担の見直しについて引き続き検討を進める」となっている。具体的には

意に反して先発品を使わざを得ない状況の中で、厚労省の骨太の方針では「薬剤自己負担の見直しについて引き続き検討を進める」となっている。具体的には

## 抄論

### 診療報酬制度の更なる改悪に警戒しよう

理事 山里 将進

24年度の診療報酬改定は協会会員の期待に反して、医療機関経営の困難に拍車を掛ける厳しい改定になった。本体改定率は0.88%引き上げたが内閣府のインフレ予測2.5%を勘案するとマイナス1.62%の大幅減額となった。物価高騰、人件費高騰の中でマイナスイテラ

0万円超の減収になり賃金維持も困難な状況になっている。又、今回の診療報酬改定では公的医療保険制度の基本原理を揺るがす混合診療の拡大が行われている。保険外併用療養費制度の範囲が拡大され長期収載薬

治療薬タミフルや保湿度剤（ヒルドイド）など1095品目で患者負担増が狙われている。先発品と後発薬の薬価差の4分の1を保険給付の対象から外し、患者の保険外負担になる仕組みである。制度改定の理由として「研究開発型のビジネスモデルへの転換を促す」

意に反して先発品を使わざを得ない状況の中で、厚労省の骨太の方針では「薬剤自己負担の見直しについて引き続き検討を進める」となっている。具体的には

意に反して先発品を使わざを得ない状況の中で、厚労省の骨太の方針では「薬剤自己負担の見直しについて引き続き検討を進める」となっている。具体的には

意に反して先発品を使わざを得ない状況の中で、厚労省の骨太の方針では「薬剤自己負担の見直しについて引き続き検討を進める」となっている。具体的には

意に反して先発品を使わざを得ない状況の中で、厚労省の骨太の方針では「薬剤自己負担の見直しについて引き続き検討を進める」となっている。具体的には

意に反して先発品を使わざを得ない状況の中で、厚労省の骨太の方針では「薬剤自己負担の見直しについて引き続き検討を進める」となっている。具体的には

## 第36回定期総会決議

今次診療報酬改定では、本体は0.88%引き上げたが薬価・材料価格の引き下げ分は充当されず、全体でマイナス0.12%と実質的なマイナス改定となった。軍事費拡大が優先され、医療・介護を含む社会保障削減方針が押し進められている。

新型コロナウイルス感染症は5類に移行後、国や自治体による各種支援策や診療報酬上の特例措置は縮小・終了し、平時の対応が進められている。しかし医療機関では感染対策の費用負担は継続し、物価高騰や政府の賃上げ要請などもあいまって、事業継続の困難、雇用の悪化により医院経営はますます厳しくなっている。

そのような中、政府は医療DXの名の下、マイナンバーカードを事実上強制し、今年12月2日からは現行の健康保険証の廃止が予定されているが、マイナ保険証の全国利用率は7月時点で11.13%と低迷している。さらに、電子媒体などで診療報酬の請求を行う医療機関に対しては今年9月末までにオンライン請求に移行することを義務付けるなど、医療機関や患者にばかり負担を強いて、国民皆保険制度のもと患者の受療権を守るべき政府の責任を放棄している。

沖縄では米軍辺野古新基地建設で、選挙や県民投票で何度も示されてきた民意を無視し、工事が強行され、米兵による凶悪犯罪、オスプレイ墜落など県民の命が常に危険にさらされている。

私たち沖縄県保険医協会は、保険医の生活と権利、国民の命と健康を守る医師・歯科医師の団体として、諸課題に全力で取り組むことを決議する。

記

- 一、オンライン資格確認システム、オンライン請求導入の原則義務化は撤回すること。
- 一、現行健康保険証は継続し、マイナンバーカードへの統合は中止すること。
- 一、新たな医療・介護の負担増計画は撤回し、患者の窓口負担を軽減すること。
- 一、地域の実情に即した公的病院の統合計画を推進し、医療提供体制の維持、強化に向けて医師・看護師等の医療者を増員すること。
- 一、医療費総枠を拡大し、初・再診料などの基本的技術料をはじめとする診療報酬を大幅に引き上げること。
- 一、保険医の裁量権を尊重し、保険診療の制限や萎縮を強いる審査、指導、監査はやめ、保険医の人権が守られるようにすること。
- 一、子ども医療費助成制度を現物給付にした市町村の国保国庫補助金の削減（ペナルティ）は全て廃止し、18歳まで国の医療費無料制度を早期に創設すること。
- 一、原発の再稼働は止め、再生可能エネルギー政策への転換を進めること。
- 一、防衛費の大幅増を止め、社会保障費の削減を行わないこと。
- 一、国は唯一の戦争被爆国としての責任を果たすべく、核兵器禁止条約を批准すること。
- 一、普天間基地の無条件撤去、辺野古への新基地建設計画を直ちに中止すること。

以上、決議する。

2024年8月31日 沖縄県保険医協会第36回定期総会

8月3・4日の両日、東京にて保団連夏季セミナーに参加したので印象的な内容を報告する。

2、2日目：宮崎礼二明海大学経済学部准教授「軍事大国化する日本の未来はあるのか」

028年にはGDP比2%まで軍拡することが議決された。それは即ち、①戦争リスクを高め②貧国強兵へと繋がる。今後ますます庶民にとって貧しい状態が続くであろう。

か？」。もう少し「我が事」と捉えて行動する国民性を養うことも大切だ。



副会長 樋口 豊





能登半島地震・輪島市社協災害VC。スーパーの駐車場にプレハブで開設された(5月11日)

「災害ボランティアセンター」(災害VC)をご存知でしょうか?大規模災害発生後、大勢のボランティアが大型テントに待機したり、浸水被害があった家屋で泥出しをして...

「災害VCは、2000年前後から...」という人はいません。設置・運営を担う社協は、平時から多くの福祉事業を...

「迷惑ボランティア」と呼ばれる人、ボランティアとは呼ばれません。また、ボランティアの原則は「自主性」「創造性」...



5月に輪島市で活動するボランティア。沖縄から参加したメンバーから写真をいただいた

「迷惑ボランティア」と呼ばれる人、ボランティアとは呼ばれません。また、ボランティアの原則は「自主性」「創造性」...

「迷惑ボランティア」と呼ばれる人、ボランティアとは呼ばれません。また、ボランティアの原則は「自主性」「創造性」...

第6回 女性会員懇親会開催!!



8月4日(日)、約5年ぶりとなる女性医師・歯科医師のランチ交流会を...

「迷惑ボランティア」と呼ばれる人、ボランティアとは呼ばれません。また、ボランティアの原則は「自主性」「創造性」...

「迷惑ボランティア」と呼ばれる人、ボランティアとは呼ばれません。また、ボランティアの原則は「自主性」「創造性」...

一般寄稿 連載4 「災害VCとボランティアのありかた」 災害ソーシャルワーク・ボランティア30年④

社会福祉士/防災士 稲垣 暁

アルには災害VC設置が明記されています。なぜ設置されるのでしょうか?被災者の応急ニーズに関し、量や数に応じてボランティアを募集し効果的に配置する...

第2回 保団連歯科社保・審査対策部会

7月28日、第2回 保団連歯科社保・審査対策部会が開催された。以下にご報告する。

1、CAD/CAM冠冠における7番装着時の疑義に関する回答... 7番の歯CAD冠装着時の取り扱いについて、厚労省より口頭による回答を得た...

3、財務省財政審「建議」について

5月21日、財政制度等審議会が「我が国の財政運営の進むべき方向」と題する春の「建議」を公表したが、その中で防衛費増を当然視する一方、社会保障を切り詰めることを求めている。

我が国では今後高齢化が継続するにもかかわらず、社会保障水準(対GDP比)は欧米先進諸国と比べて低く、医療・介護・福祉分野は他の産業より低い賃金水準にある。...

診療雑感 ⑥7 女性の人類学



オリフ山病院 石田 肇

女性医師が書いたWoman's Body (Stoppard M. Woman's Body. Dorling Kindersley Limited, London, 1994)という本から、女性に関する生物学的ならびに文化的人類学の数々を紹介してみます。

脂肪分布で特徴的なのが、アフリカの一部に見られるSeadogyaです。臀部と大腿部に大量の脂肪が付きます。これは、もちろん、エネルギーの蓄積としての脂肪であり、古代の人々にも見られたので、と想像できます。

現代にのみあてはまることではありません。16世紀のスイーデンの調査でも、女性が長生きでした。ただし、霊長目全体で、雌が長生きというわけではありません。チンパンジー、ゴリラなどの類人猿は雌が長生きですが、ヨザルなどは、雄が長生きです。その分、子育てに雄が参加しています。このように、寿命のような生物学的基盤が、霊長目の基礎社会構造を決めていることもありそうです。

LINE公式アカウント 友達募集中! QRコードから登録ください。学習会などの各種ご案内をお送りします。

費倍増のためにその費用をカットすることなど本末転倒と言わざるを得ない。現場の関係者が声を挙げて、社会に訴えかける姿勢もまた必要と思われる。9月より金パラの点数改定があるので、ご注意いただきたい。 副会長 樋口 豊



**参加費…無料** 詳しくは同封の案内チラシをご確認下さい

**会場…医師会館（WEB併用）**

**開催日時…2024年10月5日（土）**  
14時～17時（180分）

**沖縄の医療を守ろう！  
医療者増員を求めるシンポジウム**

**主催：沖縄の医療を守ろう！  
医療者増員を求めるシンポジウム実行委員会**

**共催：医師・医学生署名をすすめる会**

**後援：薬剤師会、群星沖縄臨床研修センター、  
沖縄保険医協会、沖縄民医連**

**歯科施設基準対応研修会**

歯初診 外安全1 外感染1.2  
口管強 歯援診

日時：10月3日（木）午後7時～9時  
会場：県市町村自治会館2階会議室  
（那覇市旭町116-37）

講師：砂川 英樹先生（砂川歯科医院院長）  
比嘉 努先生（県立南部医療センター歯  
科口腔外科部長）  
高良 孔明先生（高良歯科医院院長）

詳しくは同封の案内チラシをご確認下さい

**共済部だより**

休業されたらすぐに協会にご連絡を！  
2024年8月度休業保障共済保険給付実績(1件)

	口数	入院	自宅療養	給付金額
A先生	3口	0日	16日	288,000円

開業・就業状況、住所変更、勤務先変更などがありましたら、速やかに協会事務局（☎098-894-9579）にご連絡下さい。

**保険医年金**

2023年度の配当についてご案内

2023年度（2023年9月1日～2024年8月31日）の、受託生保会社の委託割合（シェア）をふまえた保険医年金の全体の配当率は、予定利率1.202%+上乘配当0.064%で、1.266%（運用実績）となりましたのでお知らせいたします。

第34回

# 反核医師のつどい

核も基地もいらない  
命どう宝の島から東アジアそして  
世界の平和を希求する

in 沖縄

核戦争に反対する医師の会（反核医師の会）では、毎年、反核医師のつどいを開催してきました。34回目の今年も、沖縄で開催することとなりました。ぜひ、多くのおみなさんご参加をお待ちしております。

2024年 **11.3** 日祝・4 月休

会場：オリオンホテル那覇 2階 オリオン（沖縄県那覇市安里1-2-21）

day 1 **11.3** 日祝

14:00～ 開会全体会  
14:10～ 国際シンポジウム  
(14:10～18:10/4時間)

**記念講演**  
「東アジアの平和（台湾有事と日本の選択）（仮）  
講師：田岡 俊次氏（ジャーナリスト）

**沖縄・台湾シンポジウム**  
シンポジスト  
田岡 俊次氏、Yang Szu Pang氏（家庭医・作家）  
駒込 武氏（京都大学大学院教育学研究科教授）  
下地 陽一氏（医師・城辺中央クリニック・宮古島出身）  
コーディネーター  
徳田 安春氏（医師・群星沖縄臨床研修センター長）

19:00～ 懇親会（ホテル内で）

day 2 **11.4** 月休

9:00～ 沖縄の基地問題  
**基調講演**  
前泊 博盛氏（沖縄国際大学教授）  
テーマ「沖縄の基地内の核兵器」

10:30～ 現地からの報告  
①うるま市の自衛隊訓練場建設  
②辺野古基地建設  
③八重山地域の基地問題  
④宮古島のミサイル基地

11:40～ 閉会全体会  
12:20頃 閉会予定  
13:00 オプション企画（バスで基地等の見学予定）  
(16:00那覇空港到着解散予定)



田岡 俊次氏  
ジャーナリスト

1941年京都市生。64年早稲田大学政経学部卒、朝日新聞社入社。68年から防衛庁担当、82年朝日新聞編集委員。著書多数。



Yang Szu Pang氏  
家庭医・作家

2013年と2014年、台湾、香港、カナダ、米国で222回に及ぶ示唆に富む講演を行う。台湾における核兵器開発の歴史に熱心を持つ。過去4年で2冊の本を出版。



駒込 武氏  
京都大学大学院  
教育学研究科教授

専攻は教育と学問の歴史、台湾近現代史。単著に「世界史のなかの台湾権民地支配」（岩波書店）など多数。



前泊 博盛氏  
沖縄国際大学教授

1960年宮古島生。駒澤大学法学部政治学専攻、明治大学大学院政治経済学専攻博士前期課程修了。琉球新報編集局長記者、論説委員長歴任。

**参加費**

医師・歯科医師 **5,000円**  
医療関係者 **2,000円**  
医療系学生 **1,000円**

1日参加・オンライン参加でも参加費は変わりません。  
一般は現地参加のみ **1,000円**  
懇親会 **8,500円**（学生は無料）

一般参加歓迎  
オンライン参加もOK！

主催：第34回核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める医師・医学者のつどい実行委員会／核戦争に反対する医師の会

## 共済制度加入募集中！！

**保険医年金**

募集期間 **9/1～10/25(2025年1月1日加入)**  
予定利率 **1.202%**(2023年度の配当は0.064%)

〇いつからでも受取可能で、受給時に受取方法を4種類から選択、または一時金として受取。  
口数単位での受取など多彩な受取が可能。

掛金	1口	限度額
月払	1万円	通算30口 (月額30万円)まで
一時払	50万円	加入日毎に40口 (2千万円)まで

**休業保障**

募集期間 **9/15～12/31(2025年4月1日加入)**

〇入院は1日目から給付、給付期間が最長730日の充実保障  
〇再発や後遺症にも、何度でも給付  
〇自宅療養でも、代診をおいても給付  
※自宅療養は免責期間（3日間）があります。  
〇拠出金（保険料）は加入時のまま上がりず、掛け捨てではありません  
〇所得補償保険等の加入に関係なく給付

加入年齢	1口あたりの拠出金
～29歳	2,500円
30～39歳	2,800円
40～49歳	3,000円
50～54歳	3,300円
55～59歳	3,700円